

WG 211 :

人と設備の共働工場における 働き方の標準化

【WGメンバ】

ファシリテーター：トヨタ自動車（株）大倉 守彦

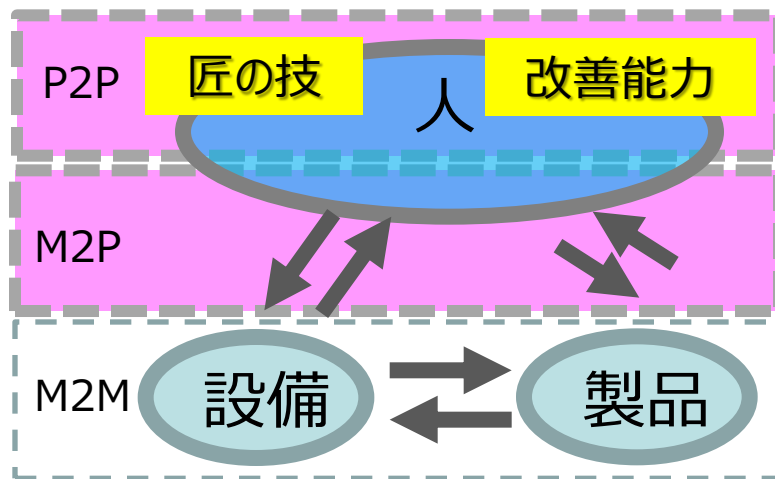
エディター：日本ユニシス（株）岡村 義昭

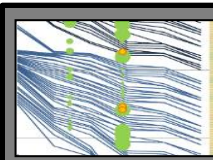
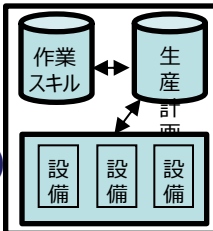
メンバー：（株）ジェイテクト 青能 敏雄 都築 俊行、
川崎重工（株）宗藤 康治、オムロン（株）松本 英俊、
（株）日立製作所 平生 利明
（株）進和 川原 直樹、明治電機工業（株）山田 啓太



目指す姿 「人」が主語である 人と設備の共働工場

P2P、M2Pを加速
→匠の技と改善能力を活かした
日本流工場IoTものづくりへ



	実証実験結果	
【作業分析・改善】 人の動作を把握した 作業環境の改善	・動作分析 ・動線分析	 動作分析システム
【問題が一目で正しく見える】 品質不良発生 の未然防止	・タイムライン ・稼働、品質検査 行動の見える化 ・人の動線監視	 タイムラインモニタ
【匠の技のデジタル化】 匠技術の共有による 負荷の平準化	・作業スキルDBと 設備稼働情報を 連携した生産計画 (ホームポジション)	 ホームポジションシステム

人づくりと持続的成長をサポートするための、インターフェースの標準を整備していく

IVIアプローチの価値

- ・異なる企業間でも、同一の課題と今後のあり方(To Be)を共有し、IoT導入に対するWG内での**協調領域を見出す**ことができた。
- ・本WG活動を通じて、日本のものづくりの鍵は人であり、ToBeにおいても**人が中心であり、工場IoTはその人を助けるためのもの**、ということを再認識できた。

将来に向けた課題・可能性

- ・**良品条件や匠の技をDB化し、人の成長へ繋がる学習技術**
- ・業務シナリオからゆるやかな標準化項目（リファレンスモデル）への落とし込み

